



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 タカノ株式会社

コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鷹野 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	13,654	10.6	186	—	254	151.6	134	180.7
27年3月期第3四半期	12,350	31.8	△66	—	101	—	47	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 40百万円 (△82.2%) 27年3月期第3四半期 226百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	8.85	—
27年3月期第3四半期	3.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	35,398	26,571	75.1	1,748.53
27年3月期	34,345	26,652	77.6	1,753.87

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 26,571百万円 27年3月期 26,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	15.9	970	245.9	1,100	142.5	760	124.2	50.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	15,721,000 株	27年3月期	15,721,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	524,773 株	27年3月期	524,734 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	15,196,234 株	27年3月期3Q	15,196,266 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日）におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策を背景に企業収益や雇用環境は改善が進んでおり、個人消費も底堅い動きとなっているなど、全体として緩やかな回復基調で推移しているものの、中国の景気減速による世界経済への影響、原油安や為替の急激な変動などによる影響も懸念され、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような環境のもとで、当社グループは中期経営計画「Grow up 63」の達成に向け、計画の最終年度にあたる当期は、計画の基本方針である「中期的な事業の成長を確保するため、新しい分野に対する『攻め』を徹底して行う」を推進すべく、引き続き、重点的かつ積極的な経営資源の投入により、施策を実行してまいりました。

具体的には、医療関連分野向け新製品の開発および生産立ち上げに注力するとともに、生産性向上および合理化推進のための活動を引き続き、推進してまいりました。

その結果、主に住生活関連機器事業および検査計測機器事業の販売の拡大により、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,654百万円で、前年同四半期比1,304百万円（10.6%）の大幅な増収となりました。

利益面につきましては、円安にともなう輸入資材価格の上昇、検査計測装置販売価格の低下等の影響はあったものの、積極的な合理化、販売拡大による粗利益額の改善等により、営業利益186百万円（前年同四半期は営業損失66百万円）、経常利益254百万円（前年同四半期比153百万円、151.6%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益134百万円（前年同四半期比86百万円、180.7%の増益）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	5,029	5,825	15.8%	△94	△67	－%
検査計測機器	4,091	4,509	10.2%	△122	93	－%
産業機器	1,594	1,590	△0.2%	144	119	△17.3%
エクステリア	688	687	△0.3%	△47	△34	－%
機械・工具	946	1,043	10.2%	59	87	47.7%
報告セグメント計	12,350	13,654	10.6%	△61	198	－%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△5	△11	－%
合計	12,350	13,654	10.6%	△66	186	－%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、前四半期に引き続き、生産性向上のための工程改革等に積極的に取り組むとともに、新製品の開発および生産立ち上げのための活動を進めてまいりました。また、立位手術術者体位保持機器等、医療・診療空間で使用される新製品の販売促進活動に取り組んでまいりました。

この結果、首都圏オフィスビル供給増加にともなうオフィス家具需要が堅調に推移し、売上高は5,825百万円で前第3四半期連結累計期間比795百万円、15.8%の増収となりました。利益面では、市場競争の激化にともなう販売単価の低下の影響および円安の進行による海外調達資材価格の上昇等はあったものの、販売数量の増加にともなう稼働率の向上、積極的なコスト削減活動等により、セグメント損失は67百万円（前年同四半期はセグメント損失94百万円）と赤字幅を縮小することができました。

（検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、中国市場向け液晶検査装置および高機能フィルム向け検査装置ならびに燃料電池部材等の新用途市場向け検査装置の販売活動と装置の効率的な立ち上げのための活動に注力してまいりました。また、製品の競争力強化に向け、製品の標準化の推進と高速光学センサーおよび高速画像処理装置の開発に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は中国顧客向け検査装置の大口物件にかかる売上高が計上でき、売上高は4,509百万円で前第3四半期連結累計期間比417百万円、10.2%の増収となりました。また、利益面では装置販売価格の低下等の影響はあったものの、販売の拡大にともなう粗利益額の増加により、セグメント利益は93百万円（前年同四半期はセグメント損失122百万円）と黒字転換を図ることができました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、前連結会計年度に引き続き、中国をはじめとするアジア地域での製造委託体制の拡充、海外市場への積極的な営業活動および医療関連分野向け電磁アクチュエータの販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は1,590百万円で前第3四半期連結累計期間比3百万円、0.2%の減収となりました。また、利益面では積極的なコストダウン・合理化活動を推進したものの、セグメント利益は119百万円で、前第3四半期連結累計期間比25百万円、17.3%の減益となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、オーニング等の業務用途の物件受注に向けた販売促進活動、工場製造ラインのレイアウト改善、工場周辺の環境整備活動に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は687百万円で前第3四半期連結累計期間比1百万円、0.3%の減収となり、セグメント損失は34百万円（前年同四半期はセグメント損失47百万円）と、赤字幅を縮小することができました。

（機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、営業エリアにおける企業設備投資環境が改善するなか機械・工具等の販売促進活動に努めた結果、売上高は1,043百万円で、前第3四半期連結累計期間比96百万円、10.2%の増収となりました。利益面では、販売の拡大にともなう粗利益額の拡大により、セグメント利益は87百万円で、前第3四半期連結累計期間比28百万円、47.7%の増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は35,398百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,052百万円増加いたしました。純資産合計は26,571百万円となり、前連結会計年度末と比較して81百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は75.1%と前連結会計年度末と比較し、2.5ポイント減少いたしました。

資産の部については、前連結会計年度末に対して、現金及び預金が1,321百万円減少する一方、需要期に備え、住生活関連機器の製品在庫を積み増したことにより商品及び製品が516百万円増加し、受注の拡大により検査計測装置の仕掛品が1,760百万円増加したこと等により、流動資産合計が1,203百万円増加し、22,863百万円となりました。固定資産合計は、長期性預金の新規設定250百万円により投資その他の資産のその他が増加する一方、株式相場の若干の低迷にともなう評価の悪化および1年内に償還予定の投資有価証券を流動資産の有価証券に振り替えたこと等により投資有価証券が583百万円減少したため150百万円減少し、12,535百万円となりました。

負債の部については、仕入債務が1,303百万円増加したこと等により、負債合計は1,134百万円増加し、8,827百万円となりました。

純資産の部については、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の計上の一方、保有株式の時価下落にともないその他の包括利益累計額が94百万円減少したこと等により、純資産合計は81百万円減少し、26,571百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績につきましては、現時点で、平成27年5月8日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,058,419	8,737,029
受取手形及び売掛金	6,443,833	5,876,662
有価証券	251,205	901,260
商品及び製品	487,069	1,003,814
仕掛品	2,731,108	4,491,319
原材料及び貯蔵品	1,056,456	1,040,110
その他	634,043	815,590
貸倒引当金	△1,942	△2,567
流動資産合計	21,660,193	22,863,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,824,775	1,818,613
機械装置及び運搬具（純額）	471,635	518,798
土地	4,214,993	4,230,231
その他（純額）	382,284	519,061
有形固定資産合計	6,893,688	7,086,705
無形固定資産	307,833	315,567
投資その他の資産		
投資有価証券	4,468,080	3,885,060
その他	1,021,381	1,253,694
貸倒引当金	△5,731	△5,831
投資その他の資産合計	5,483,731	5,132,924
固定資産合計	12,685,253	12,535,196
資産合計	34,345,446	35,398,415

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,883,869	2,187,400
電子記録債務	1,627,758	2,627,660
未払法人税等	38,029	52,326
前受金	1,814,889	1,897,012
賞与引当金	306,522	204,516
役員賞与引当金	11,300	-
その他	1,088,741	1,020,203
流動負債合計	6,771,111	7,989,119
固定負債		
長期借入金	167,487	92,484
役員退職慰労引当金	175,080	186,060
退職給付に係る負債	440,530	413,702
その他	138,961	146,006
固定負債合計	922,058	838,252
負債合計	7,693,169	8,827,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	21,981,533	21,994,418
自己株式	△272,421	△272,451
株主資本合計	26,080,429	26,093,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	501,446	413,084
為替換算調整勘定	75,288	64,894
退職給付に係る調整累計額	△4,887	△220
その他の包括利益累計額合計	571,847	477,758
純資産合計	26,652,277	26,571,043
負債純資産合計	34,345,446	35,398,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,350,119	13,654,648
売上原価	10,197,840	11,158,839
売上総利益	2,152,279	2,495,809
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	605,766	612,410
賞与引当金繰入額	38,955	56,013
退職給付費用	49,339	46,739
貸倒引当金繰入額	△90	624
役員退職慰労引当金繰入額	10,320	10,980
その他	1,514,685	1,582,319
販売費及び一般管理費合計	2,218,975	2,309,087
営業利益又は営業損失(△)	△66,696	186,721
営業外収益		
受取利息	36,274	32,986
受取配当金	22,272	25,216
為替差益	85,212	-
助成金収入	480	781
その他	33,052	18,197
営業外収益合計	177,291	77,180
営業外費用		
支払利息	2,447	1,559
為替差損	-	4,031
固定資産除売却損	5,341	2,365
その他	1,543	1,139
営業外費用合計	9,332	9,096
経常利益	101,262	254,806
特別損失		
投資有価証券評価損	5,279	-
特別損失合計	5,279	-
税金等調整前四半期純利益	95,983	254,806
法人税、住民税及び事業税	48,407	81,085
法人税等調整額	△319	39,265
法人税等合計	48,087	120,351
四半期純利益	47,896	134,454
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,896	134,454

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	47,896	134,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166,470	△88,362
為替換算調整勘定	8,601	△10,393
退職給付に係る調整額	3,836	4,666
その他の包括利益合計	178,908	△94,089
四半期包括利益	226,804	40,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226,804	40,365
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	5,029,154	4,091,715	1,594,033	688,923	946,291	12,350,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	30,166	66,494	7	3,131	364,975	464,774
計	5,059,321	4,158,209	1,594,040	692,055	1,311,267	12,814,894
セグメント利益又は損失(△)	△94,837	△122,503	144,965	△47,924	59,262	△61,039

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△61,039
セグメント間取引消去	△5,656
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△66,696

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	5,825,032	4,509,106	1,590,229	687,058	1,043,222	13,654,648
セグメント間の内部売上高又 は振替高	23,900	10,846	19,375	8,317	455,155	517,594
計	5,848,933	4,519,953	1,609,604	695,375	1,498,377	14,172,243
セグメント利益又は損失(△)	△67,667	93,295	119,867	△34,832	87,553	198,215

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	198,215
セグメント間取引消去	△11,494
四半期連結損益計算書の営業利益	186,721

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。